

Ⅲ 調 査 票

【防災に関する意識について】

長野県では、令和元年東日本台風災害や令和6年能登半島地震等の大規模災害において明らかになった課題を教訓として捉え、自主的な防災対策の実践を県民に呼びかけるなど、自助の推進に取り組んでおります。つきましては、皆様の防災に関する意識を確認し、今後の施策の参考とさせていただくため、以下のとおり伺います。

問1 ハザードマップや信州防災アプリなどにより、自宅周辺の災害リスクを認識していますか。当てはまるものを選んでください。

- ① ハザードマップ等を見たことがあり、自宅周辺の災害リスクを知っている
- ② ハザードマップ等を見たことはあるが、自宅周辺の災害リスクは知らない
- ③ ハザードマップ等を見たことがない

問2 災害に備えてマイ・タイムライン(時系列で整理した一人ひとりの防災行動計画)を作成していますか。当てはまるものを選んでください。

- ① 作成している
- ② マイ・タイムラインがどのようなものか知っているが、作成していない
- ③ マイ・タイムラインという言葉を見聞きしたことがあるが、内容はよくわからない
- ④ マイ・タイムラインという言葉は初めて知った

【県民の移動手段について】

長野県では、自家用車に頼らなくても不便を感じずに、日常生活を送ることができる状態を目指しています。今後の政策の参考とするため、県民の皆様の移動手段や公共交通のあり方などについて伺います。なお、このアンケートでは、鉄道、バス、タクシーを公共交通としてお答えください。

問3 通勤・通学、通院や買い物等の目的で最も長い時間利用する交通手段について、当てはまるものを選んでください。(すべての目的ごとに交通手段を1つずつ選択)

目的 \ 交通手段	鉄道	バス	タクシー	自家用車・バイク等 (自分で運転)	自家用車・バイク等 (家族等の運転)	その他の 交通手段(自転車、 徒歩も含む)	該当する目的 での移動無し
通勤							
通学							
通院							
買い物							
公共施設利用 (役場、図書館等)							
銀行・郵便局等 の利用							
趣味・レジャー							

問4 公共交通(鉄道、バス、タクシー。以下同じ)で不便だと感じる点について、当てはまるものを選んでください。(3つまで)

- ① 出発地の近くに駅やバス停がない点
- ② 目的地の近くに駅やバス停がない点
- ③ 鉄道の運行本数が少ない点
- ④ バスの運行本数が少ない点
- ⑤ 公共交通同士の乗り継ぎが不便な点(バスから鉄道への乗り継ぎ等)
- ⑥ 自家用車の移動に比べて時間がかかる点
- ⑦ 鉄道の運賃が高額に感じる点
- ⑧ バスの運賃が高額に感じる点
- ⑨ タクシーの利用料金が高額に感じる点
- ⑩ 身体的に利用が難しい点
- ⑪ 外出の目的に合わない点(買い物で荷物がたくさんある等)
- ⑫ 鉄道の車内が混雑していて座れない点
- ⑬ バスの車内が混雑していて座れない点
- ⑭ その他()
- ⑮ 特になし

問5 公共交通の利便性向上のために求めるサービスについて、当てはまるものを選んでください。(3つまで)

- ① 駅やバス停など乗り場の増設
- ② 鉄道の運行本数の増便によるダイヤの充実化
- ③ バスの運行本数の増便によるダイヤの充実化
- ④ 鉄道車両の増設によるピーク時の混雑の緩和
- ⑤ バス車両の増便によるピーク時の混雑の緩和
- ⑥ 定額乗り放題、上限運賃や学生の方・ご高齢の方・障がいのある方等を対象にした割引の設定など、利用しやすい運賃設定の導入
- ⑦ キャッシュレス決済の導入
- ⑧ 経路検索サービスでの鉄道やバスの乗り継ぎの表示
- ⑨ 駅やバス停に電子看板・Wi-Fi設備・待合室等を整備することによる待合環境の改善
- ⑩ バリアフリー車両の導入による乗り降りがしやすい環境の整備
- ⑪ パークアンドライド用の駐車場の整備による渋滞の解消
- ⑫ バス専用レーンの設置などによる定時性(ダイヤどおりの運行)の確保
- ⑬ コミュニティバス(一定の地域内を、その地域の交通需要に合わせて運行するバス)の導入・運行エリアの拡大
- ⑭ (一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶ)ライドシェア導入の促進によるタクシー手配に係る利便性向上
- ⑮ その他()
- ⑯ 特になし

問6 あなたは、公共交通の利用を促進するために、行政や交通事業者等はどのような誘導策やイベントを行うことが必要だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(2つまで)

- ① 公共交通機関を無料もしくは割引運賃で乗ることができる日の設定
- ② キャラクターとのタイアップ、アウトドアやお酒をテーマにした観光・イベント列車の実施
- ③ 児童生徒向けリーフレットの配布や乗り方教室などの開催
- ④ 健康増進や時間の有効活用、CO2削減等の公共交通利用のメリットの周知
- ⑤ 通勤・通学者をメインターゲットにしたバスの運行
- ⑥ その他()
- ⑦ 特になし

問7 県内の公共交通は民間事業者の独立採算だけで維持していくことは困難な状況となっております。今後の公共交通全体に対する行政の負担と利用者負担について、何が最も望ましいあり方だと思いますか。当てはまるものを選んでください。

- ① 行政の負担、利用者の負担(運賃)ともに現状のままでよい(サービス水準は低下)
- ② 行政の負担を現状のままとして、利用者の負担(運賃)を増やした方がよい(サービス水準は維持)
- ③ 行政の負担を増やし、利用者の負担(運賃)は現状のままでよい(サービス水準は維持)
- ④ 行政の負担を大きく増やし、利用者の負担(運賃)は現状のままでよい(サービス水準は向上)
- ⑤ 行政の負担、利用者の負担(運賃)ともに増やした方がよい(サービス水準は向上)
- ⑥ わからない

※サービス水準とは、ダイヤ・運行回数・運賃、決済環境、情報提供、待合環境の品質の最低基準

【子ども・若者の意見の施策反映について】

長野県では、子どもや若者の最善の利益を第一に考え、健やかな成長を社会全体で後押しする「こどもまんなか社会」の実現に向けて、子どもや若者の意見を聴き、施策等に反映させる取組を進めています。つきましては、「子ども・若者の意見の施策反映※」について伺います。

※令和5年4月に施行された「こども基本法」では、こども施策にかかる基本理念として次のような内容が明記されました。

1. 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。
2. 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

問8 あなたは、子どもや若者が対象となる政策や制度については子どもや若者の意見を聴くようにすべきだと思いますか。当てはまるものを選んでください。

- ① そう思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらかといえばそう思わない
- ④ そう思わない
- ⑤ わからない

問9 あなたは、子ども・若者の意見が県の取組などに活かされていると思いますか。当てはまるものを選んでください。

- ① そう思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらかといえばそう思わない
- ④ そう思わない
- ⑤ わからない

【長野県救急安心センター(#7119)について】

長野県では、県民が急な病気やけが等で、救急車を呼んだ方がよいのか、今すぐ病院に行った方がよいのかなどで迷った際に、看護師等に相談できる電話相談窓口「長野県救急安心センター(#7119)」を、令和5年10月1日から開設しています。

つきましては、長野県救急安心センター(#7119)についてお伺いします。

問10 あなたは、長野県救急安心センター(#7119)を利用したことがありますか。当てはまるものを選んでください。

- ① 利用したことがある
- ② 知っているが利用したことはない
- ③ 知らない

問11 問10で「利用したことがある」又は「知っているが利用したことはない」を選ばれた方に伺います。あなたは、長野県救急安心センター(#7119)をどのような媒体で知りましたか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ① 自治体の広報紙
- ② インターネット(ホームページ・SNS等)
- ③ ポスター
- ④ パンフレット
- ⑤ 家族・友人・知人等、人づて
- ⑥ 救命講習会や消防機関が開催するイベント等
- ⑦ テレビ番組・ラジオ番組
- ⑧ 新聞
- ⑨ その他()
- ⑩ 覚えていない

問12 あなたは、あなたやあなたの身の周りの人が急な病気やけがをしたときのために、どのような取組を行っていれば救急車を呼ぶか病院に行くかの判断をしやすいですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

(選択肢①、②は回答者様、選択肢③、④は行政が主体となる取組です。)

- ① 健康に関することをなんでも相談できる「かかりつけ医」を持つこと
- ② 適切な救急車の要請や救急医療機関のかかり方に関する知識を持つこと
- ③ 長野県救急安心センター(#7119)(※)に平日の日中でも相談できるようにすること
- ④ チャットボットやAI等による自動応答などによりインターネット上で相談できるようにすること
- ⑤ その他()
- ⑥ 分からない

※長野県救急安心センター(#7119)

【開設時間】平日:19時から翌朝8時まで 土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日):24時間

【自殺対策について】

長野県では、毎年300人以上の方が自ら命を絶つという、深刻な状況が続いています。このような現状を受けて、県では令和5年3月に「第4次長野県自殺対策推進計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない信州」の実現を目指して、人材育成、普及啓発、関係機関との連携強化、市町村支援等、様々な取組を進めています。このアンケートは、県民の皆さまの声をもとに、計画の進捗や課題を把握し、今後の対策に活かすために実施するものです。こころの健康や生活の悩み、相談先の認知や支援の実感等について、率直なご意見をお聞かせください。つきましては、以下について伺います。

問13 こころの健康や生活上の悩み等について、相談できる窓口などの情報が、「必要なときに届いている」と感じますか。当てはまるものを選んでください。

- ① とてもそう思う
- ② ややそう思う
- ③ どちらともいえない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ まったくそう思わない
- ⑥ こころの健康や生活上の悩みがないため、相談窓口等の情報を必要としていない

問14 以下の自殺対策に関する相談窓口等について知っていますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ① こころの健康相談統一ダイヤル
- ② こころの相談窓口
- ③ よりそいホットライン
- ④ 長野いのちの電話
- ⑤ 各種SNS相談窓口(生きづらびっと、あなたのいばしょ等)
- ⑥ ゲートキーパー
- ⑦ くらしと健康の相談会
- ⑧ 自殺予防週間／自殺対策強化月間
- ⑨ 子どもの自殺危機対応チーム
- ⑩ あすなろの会(自死遺族交流会)
- ⑪ その他()
- ⑫ いずれも知らなかった

問15 自殺の現状(例:自殺者数の推移、背景要因など)や予防に関する知識について、「信頼できる」と感じる情報が自分のもとに届いていると思いますか。当てはまるものを選んでください。

- ① とてもそう思う
- ② ややそう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ まったくそう思わない
- ⑤ どちらともいえない

問16 心の健康や生活上の悩みがあるとき、相談したいと思える相手や機関はありますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ① 親
- ② 配偶者・パートナー
- ③ きょうだい
- ④ 子
- ⑤ ①～④を除く親族
- ⑥ 恋人・友人
- ⑦ 近所の人
- ⑧ 地域の民生委員・児童委員
- ⑨ 上司・同僚・部下
- ⑩ 弁護士・司法書士・法テラス
- ⑪ 医師・看護師等
- ⑫ 学校関係者(教師、養護教諭、スクールカウンセラー等)
- ⑬ ヘルパー・ケアマネージャー等
- ⑭ 民間の相談窓口・民間のカウンセラー
- ⑮ 行政の相談窓口
- ⑯ SNS相談窓口
- ⑰ SNS・インターネット掲示板等
- ⑱ その他()
- ⑲ 特にない

問17 「表情が暗い」「疲れていそう」など、最近以前と様子が違うなど感じる人に対して、どのように接していますか。最も当てはまるものを選んでください。

- ① すぐに声をかける
- ② 見守りつつ、タイミングをみて声をかける
- ③ 実施していることはない
- ④ これまで様子が気になる人はいなかった
- ⑤ その他()

問18 あなたの地域では、以下のような自殺予防の取組が行われていると感じますか。見聞きしたことがある、実際に関わったことがあるなどをもとに、当てはまるものを選んでください。

項目	①とても そう思う	②やや そう思う	③あまり そう思わ ない	④まったく そう思わ ない	⑤わから ない
自殺対策に関わる支援者 (相談員、保健師、地域ボランティア等)の育成 や研修が行われている					
市町村、医療機関、福祉機関等が連携して、自殺 予防に取り組んでいる (例:相談窓口の設置や周知、他職種連携による支 援、メンタルヘルスに関する講座、ゲートキーパー 研修等)					

問19 あなたご自身、ご家族、周囲の人で次のようなことで困っている方はいますか。現在または過去のことでもかまいません。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ① 生活に困窮したことがある(例:生活費が足りない、借金が返せない 等)
- ② 勤務に関する問題があった(例:パワーハラスメント、長時間労働 等)
- ③ この中に特に困ったことはない

問19で「生活に困窮したことがある」を選ばれた方に伺います。

問20 その時、あなたやご家族等はどこか、もしくは誰かに相談しましたか。当てはまるものを選んでください。

また、「相談しなかった」を選択した場合、誰にも相談しなかった理由をご記載ください。

- ① 相談した
- ② 相談しなかった
- ③ 覚えていない/わからない
- ②とした理由()

問21 問20で「相談した」を選ばれた方に伺います。相談したことで、状況は改善されましたか。当てはまるものを選んでください。

- ① とても改善された
- ② 少し改善された
- ③ あまり変わらなかった
- ④ 全く変化がなかった
- ⑤ むしろ悪化した

問19で「勤務に関する問題があった」を選ばれた方に伺います。

問22 その時、あなたやご家族等はどこか、もしくは誰かに相談しましたか。当てはまるものを選んでください。

また、「相談しなかった」を選択した場合、誰にも相談しなかった理由をご記載ください。

- ① 相談した
- ② 相談しなかった
- ③ 覚えていない/わからない
- ②とした理由()

問23 現在30～50代で働いている方に伺います(正規・非正規を問いません)。
あなたは、職場で安心して働けていると感じますか。当てはまるものを選んでください。
また、「あまり感じない」又は「まったく感じない」を選択した場合、理由をご記載ください。
※現在働いていない方は、「現在働いていない」を選んでください。

- ① とても感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ まったく感じない
- ⑤ どちらともいえない
- ⑥ 現在働いていない
- ③又は④とした理由()

問24 あなたの周りには子どもたちは生き生きと過ごしていると感じますか。当てはまるものを選んでください。
また、「あまり感じない」又は「まったく感じない」を選択した場合、その理由をご記載ください。

- ① とても感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ まったく感じない
- ⑤ どちらともいえない
- ⑥ 周りに子どもがいない
- ③又は④とした理由()